

政策研究センター リサーチ・プロジェクト 成果報告書

提出日: 2020/2/28

申請者(リーダー): 氏名 日比野 直彦 職名 准教授

リサーチ・プロジェクト名:

(和文) 発展途上国における公共交通指向型開発に関する計画および法制度の国際比較分析
 (英文) International Comparative Analysis of Transit Oriented Development (TOD) Related Planning and Legal Systems in Japan and Developing Countries

期間(yyyy/mm/dd): 2019/8/1 から 2021/3/31 2年間

共同研究者:	氏名	職名	所属機関・部局名	(備考)
共同研究者1	紺屋 健一	教授	GRIPS	
共同研究者2				
共同研究者3				
共同研究者4				
共同研究者5				

リサーチ・プロジェクトの目的

本研究は、公共交通指向型開発(Transit Oriented Development (TOD))の発展途上国への適用を念頭に置き、各国のTODに関連する鉄道・都市計画および法制度等に着目し、国際比較分析を行うものである。発展途上国の多くの大都市では、激しい交通渋滞が発生しており、その解決策の一つとして鉄道整備およびTODが期待されている。しかしながら、不適切な適用による失敗事例も少なくなく、発展途上国における都市の持続的な発展を実現し、そしてSDGsの実現を可能にするためには、詳細な国際比較分析を踏まえた適切なスキームづくりが重要である。各国における官庁組織構造、法律、解決すべき問題とその原因等が一樣ではないため、本研究では、それらの共通点、相違点を明確にし、TOD適用に向けた各国の課題を明らかにする。

研究成果の概要(800字程度):

本年度は、分析対象国の確定と具体的な調査の準備を行った。対象国は、調査のフィージビリティ等を踏まえ、タイ、ミャンマー、フィリピン、インドネシア、ベトナム、中国とすることとした。各国の都市計画および鉄道計画に関する制度や組織体制を理解した上で、現地語で書かれた法律等を英語もしくは日本語に翻訳できる共同研究者の発掘を、JICA、アジア交通学会、運輸総合研究所等の人的ネットワークから行った。タイ、ミャンマーについては、政策連携強化プログラム(SPRIプログラム:Strategic Policy Research and Innovation Program)において先行して実施しているため、本年度は主として、フィリピン、インドネシア、ベトナム、中国についての調査準備を進めている。

また併せて、各国のTODのプロジェクトの実施状況についての資料収集および整理も行った。開発の大小はあるものの多くのTODプロジェクトが実施されており、いずれの国も都市開発と鉄道整備を明示的に関連付けた法整備は十分ではなく、現在法整備を進めている段階であることが明らかとなった。また、各国の組織体制が異なり、担当する省、部局も異なるため、どのように各国比較をすべきかの検討を実施した。

本年度は、研究初年度ということもあり、論文の投稿や政策提言には至っていないが、各国の具体的な状況を把握しつつ、現地の情報を得られるネットワークを構築できたことは、大きな成果である。来年度は、準備が整いつつあるベトナム、中国等で本格的な調査を実施する予定である。

研究成果:

別紙((成果報告書(研究成果一覧))に記入

その他、研究成果として特記すべき事項:

※政策研究センターのリサーチ・アシスタント(RA)雇用にて採択されたプロジェクトについては、RAを雇用したことによって得られた研究成果(例:RA氏名が記載された①論文発表、学会発表など。予定も含む。)を必ず記載してください。

(全ての項目含め、1頁以内で記述してください。)

成果報告書(研究成果一覧)

研究成果一覧:

(発表予定を含む。但し、投稿中、投稿準備中は除く。別紙一覧でも可。)
(必要に応じて適宜追加)

論文((学術雑誌(総合雑誌(文藝春秋、中央公論、世界)を含む。))等掲載)

※査読付きのものは、査読欄に「1」を入れてください。

※共著論文の場合には、ご自身の名前の下にアンダーラインを引いてください。

※国際共著とは、異なる国を拠点とする複数の研究者による共著論文を意味します。

著者	0件 標題	雑誌名 /所収図書 ⁰ の編者・図書 名・出版者等	巻・号 /章・節	発行年	開始 ペー ジ	終了 ペー ジ	0 査読 有(=1)	0 国際共 著 (yes=1)	DOI	0 オープン アクセス (yes=1)
1										
2										
3										
4										
5										

図書:

※共著の場合にはご自身の名前の下にアンダーラインを引いてください。

※書籍の一部分のみを執筆した場合には論文の区分に含めてください。

著者・編者	0件 図書名	出版社	発行年月	総ページ数
1				
2				
3				
4				
5				

口頭報告・学会発表等:

※査読付きの学会論文集は「論文の区分」で報告し、査読なしの学会論文集は「学会発表の区分」で報告してください。

※招待講演については、学会等名の後に(招待講演)と明記してください。

報告者等	3件 論題	学会・研究会名等	報告年月日	開催場所
1 Naohiko Hibino, Shigeru Morichi, Atsushi Fukuda, Sorapong Paitoonphong	タイにおける鉄道整備と沿線開発に関するパネル ディスカッション	一般財団法人運輸総 合研究所 国際セミナー	2020/1/14	バンコク ウイステイン・グラン デ・スクーンビット
2 Naohiko Hibino, Shigeru Morichi, Timothy John R. Batan, Primitivo C. Cal	フィリピンにおける鉄道整備と沿線開発に関するパ ネルディスカッション	一般財団法人運輸総 合研究所 国際セミナー	2020/2/12	マニラ ニューワールド・ホ テル・マニラ
3 Naohiko Hibino, Shigeru Morichi, Arief Anwar, Bernadette E. S. Mayashanti, Sutanto Soehodho	インドネシアにおける鉄道整備と沿線開発に関する パネルディスカッション	一般財団法人運輸総 合研究所 国際セミナー	2020/2/14	ジャカルタ プルマン・ジャカル タ・インドネシア